

ヴィオラ 倉田 譲 Jo Kurata vol.35



温かいお客様のおかげでどこに行ってもホームゲームのよう

♪楽器を始めたきっかけは？

母親が若い頃にオペラ歌手で、自分の子どもに楽器を習わせたいと兄妹5人全員～上の男3人にヴァイオリン、下の双子の妹2人にはピアノをお稽古事として習わせてくれました。私は、2歳半にはヴァイオリンを習い始めました。

♪オーケストラプレイヤーを目指したきっかけは？

最初は武蔵大学の経済学部に入學して、小さい頃からヴァイオリンをやっているなら是非とオーケストラサークルに勧誘されました。その頃はクラシック音楽よりはむしろハードロックやパンクの方が好きで、大学に入學したらヴァイオリンをやめるつもりでした。2年生の時にヴァイオリンから逃げるようにヴィオラに転向したら、いつの間にか他の大学オケや市民オケのエキストラのお仕事が増えました。某大学のトレーナーさんが、私を音大生だと勘違いして自分の所属しているプロオーケストラにエキストラに使ってくれていたのですが、リハーサル1日、2日で演奏会の本番というサイクルにアマチュアのままだと対応できないと感じて、1週間後に大学を中退、武蔵野音楽大学に入學直しました。

♪山響に入団したきっかけは？

満員電車で楽器を守りながら、汗だくでサントリーホールに到着し、ベートーヴェンの「田園」を演奏した時。指揮者の井上道義氏が、オケに都会的ではなくもっと田舎くさくと指示していたことが、東京生まれ育ちの私にはほぼ理解できなかったのですが、その後すぐたまたま同じ「田園」を札幌交響楽団で演奏した時に、別の指揮者が同じような解釈を求めたのに、札幌交響楽団はすぐに反応して音楽がみるみるうちに変わっていったのです。音楽をやるなら東京ではないとその時に思い、一番近かった山響のオーディションに飛びついたのでした。山響には、山形新幹線がまだない頃からエキストラで使っていたので、躊躇はありませんでした。

♪山形でお気に入りの場所は？

今住んでいる大江町は大いに気に入っています。町の人達が本当にやさしく接してくれるので感謝しています。

♪好きな作曲家・曲は？

今演奏している作曲家が一番好きだと思うことにしています。入団以来、山響の仲間と弦楽四重奏団を続けているのですが、弦楽四重奏曲を書いてくれた作曲家はみんな好きです。具体的にあえて誰か？と聞かれたら武満徹、C.ドビュッシー、P.ヒンデミットあたりですかね…。

♪ヴィオラの魅力は何ですか？

音色と、ヴァイオリンより楽譜の音符が少ない事。

♪好きなヴィオラ奏者は？

師事したウルリッヒ・コッホ先生のヴィオラは唯一無二の音色で大好きです。あとはW.プリムローズ、T.ツィンマーマン、W.クリストさんなど、すべてコッホ先生の関係者です。

♪使用している楽器について教えてください。

現在は、ジオ・パッタ・モラッシー(1967)を使用しています。この楽器はチェロの渡邊研多郎さんのお父様から譲ってもらったものです。その前に使用していたレナート・スクロラヴェツァ(1979)は奥さんに貸し出し中です。

♪休みの日の過ごし方は？趣味・特技はありますか？

オケ、クアルテット、指導で基本的に休みが盆暮れだけなので、ほぼ冬眠しています。

音楽鑑賞、スコアを読むなど音楽以外のことはしていませんが、手塚治虫、水木しげるなどの昭和の漫画を読むとほっとします。あと純文学や、歴史小説も好きですね。時代劇はテレビ・映画とも大好きです。

♪最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

エキストラの頃からだともう約30年間、山響に関わっていますが、苦しい時も支えていただいたお客様に感謝の気持ちは絶えず持っています。年々忙しくなる山響ですが、温かいお客様の反応をステージで感じる事が出来て元気をいただいています。モンテディオではないですが、県内どこに行ってもホームゲームをしているようなものです。これからも一緒に音楽文化をつくって行きましょう!!